

靴下靴べら（靴下装着補助具）

実用新案登録 第 3 1 5 3 1 0 0 号

特 徴

従来の靴下装着補助具は、介助者が必要であったり、靴下を履く際に足を上げたり、操作が煩雑で、動作が不自由な障害者や高齢者等にとって使用上の制約が多々ありました。

このため介助者を頼ることなく、自力で靴下を安全に、迅速に、容易に履くことができる靴下装着補助具が求められておりました。

またサポーター効果がある靴下や、下肢静脈瘤の治療用靴下は締め付け力が強く、高齢者にとって履きにくい靴下でした。

さらに高齢者等は握力が低下すると共に、筋力の低下もあって靴下、特に五本指靴下の装着が困難でした。

この「靴下靴べら」は介助や看護において介助者が要介助者に靴下を装着する場合、あるいは握力が低下した高齢者が自分で靴下を履く場合、靴下の装着に手間が掛かり、特に五本指靴下は健常者でも履きにくく、介助者が要介助者に歩行の安定や健康のためにこの靴下を装着しようとする、装着に手間が掛かるために敬遠されてきましたが、こうした状況を単純かつ簡便かつ安価に解決する目的で開発されました。

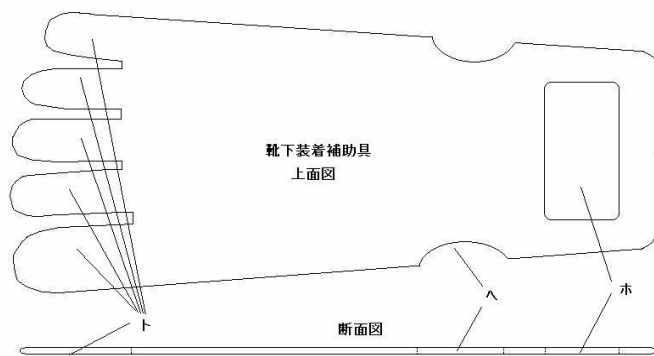
「靴下靴べら」の形状は長さ 1 2 0 mm から 3 0 0 mm、幅 5 0 mm から 1 5 0 mm、厚さ 2 mm から 2 0 mm の大きさを有し、木もしくは竹等の植物類、あるいは各種プラスチック類もしくは各種繊維補強素材類、各種金属類、各種パルプ加工材を素材とした、下図のような形状と構造を有する靴下装着用補助具であり、一枚の靴下装着補助具の表と裏を右足用と左足用と使い分けることで左右の靴下を自力で装着することが可能な介護用・自助用の靴下装着用補助具です。

介助や看護において介助者が要介助者に靴下を装着する場合、あるいは握力が低下した高齢者や肥満のため靴下が履きづらい方や、あるいは身体に障害がある方などが自力で靴下を履こうとすると大変面倒で手間が掛かります。

特に五本指靴下は履きにくく、強撚糸靴下やサポート力が強い着圧式等のソックス等の圧迫が強い靴下類を履こうとすると、足指が靴下の爪先部分まで入らないことがあります。

「靴下靴べら」は、要するに靴下を介助者なしに履くための靴下専用の「ガイド板」であり、特に装着が面倒であった五本指靴下の装着の際にすぐれた補助機能を発揮する「靴下専用のくつべら」です。

この製品は、通常のソックスは無論のこと、これまで装着が面倒であった五本指靴下の装着の際に手助けする用具であり、さらに靴下を展示・販売する際の展示具としての利用も可能です。



使用 方 法

まず、靴下を履く準備として「靴下靴べら」の先端を靴下の中に差し込み、「靴下靴べら」が靴下の先端まで完全に到達するまで挿入して下さい。

特に五本指靴下の場合は、本件靴下装着補助具の形状と完全に一致するように五本指靴下の各指先と本件靴下装着補助具の各指先が完全に一致するように「靴下靴べら」を靴下の先端まで挿入します。

その際、靴下靴べらの中程にある凹部に、装着する靴下の概ね土踏まず中央から履き口までの部分をたぐり寄せ、ここ土踏まず中央から履き口までの部分をたぐり寄せたまましておいて下さい。

そしてこの状態のまま「靴下靴べら」を床に置き、これを「ガイド板」として装着しようとする靴下の履き口から足指を靴下に差し込み、足の踵で本件靴下装着補助具を床面に押さえ付けながら、足指を尺取り虫のように這わせつつ、徐々に靴下の先端まで足指を進ませます。

なお五本指靴下を装着する場合は、五本指靴下の先端の形状と本件靴下装着補助具の五本指靴下用足指ガイドの形状が完全に一致するように挿入し、各々の足指ガイドが完全に五本指靴下の先端に収納されたことを確認したのち、足の踵で本件靴下装着補助具を床面に押さえ付けながら、足指を尺取り虫のように這わせながら徐々に靴下の先端まで進ませて下さい。

最後に足の踵を若干浮かせ、片手もしくは両手で「靴下靴べら」を靴下と足の裏の間から引き抜き、その後でたぐり寄せたままの残余の靴下を片手もしくは両手で引き上げて下さい。

また残るもう一方の足に靴下を装着する場合は、「靴下靴べら」を裏返し、再度同様の手順により靴下を装着します。

この「靴下靴べら」は、大きさを縮小することで、幼児や児童等に靴下や五本指靴下を装着する際にも使用可能となります。

(「靴下靴べら」は現在、商品化を検討中です)

